

**Quantum Leap** 発想の飛躍



# トヨタ紡織株式会社

2013年3月期

## 中間決算説明会

開催日:2012年11月12日

場 所:野村証券本社講堂7F



**Quantum Leap** 発想の飛躍

- 1 事業環境**
- 2 中期経営計画の進捗**
- 3 決算状況**



**Quantum Leap** 発想の飛躍

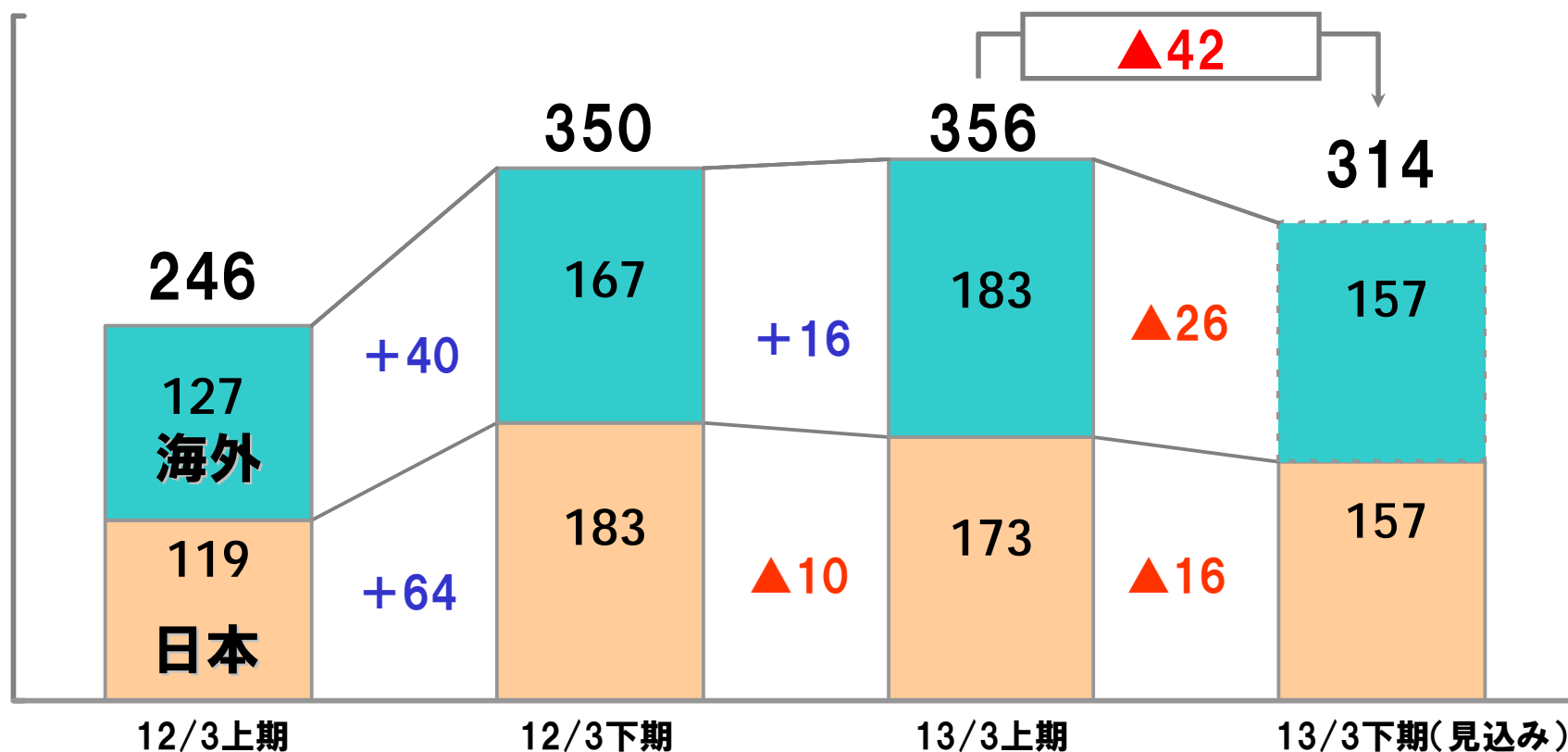
# 1 事業環境

# 1) 事業環境

## (1) 連結シート生産台数

上期までは、震災・洪水による減産からの挽回生産により、生産は高水準  
下期は、中国減産影響などにより、上期比で減産の見込み

(万台)



# 1) 事業環境

## (2) 中国事業状況

(10月末時点情報)

### 1. 足元の中国事業体の状況について

■ 当社事業体13社は、工場、従業員とも被害なし

■ 日系カーメーカービジネスを中心に、稼働レベルを落として操業中

■ 不買運動などの影響により、11月以降の生産見通しは不透明

### 2. シート生産台数への影響

□ 実績

〔9月〕 : 当初計画比、約4割減

〔10月〕 : 当初計画比、約6割減

□ 見通し ※客先からの情報に基づき、社内で独自に勘案して計画

〔11月以降〕 : 当初計画比3～4割減を想定



**Quantum Leap** 発想の飛躍

## 2 中期経営計画の進捗

## (1) 私たちがめざす企業像

明日の社会を見据え、世界中のお客様へ  
感動を織りなす移動空間の未来を創造する

*Design your passion with TOYOTA BOSHOKU*

### <2020年にありたい姿>

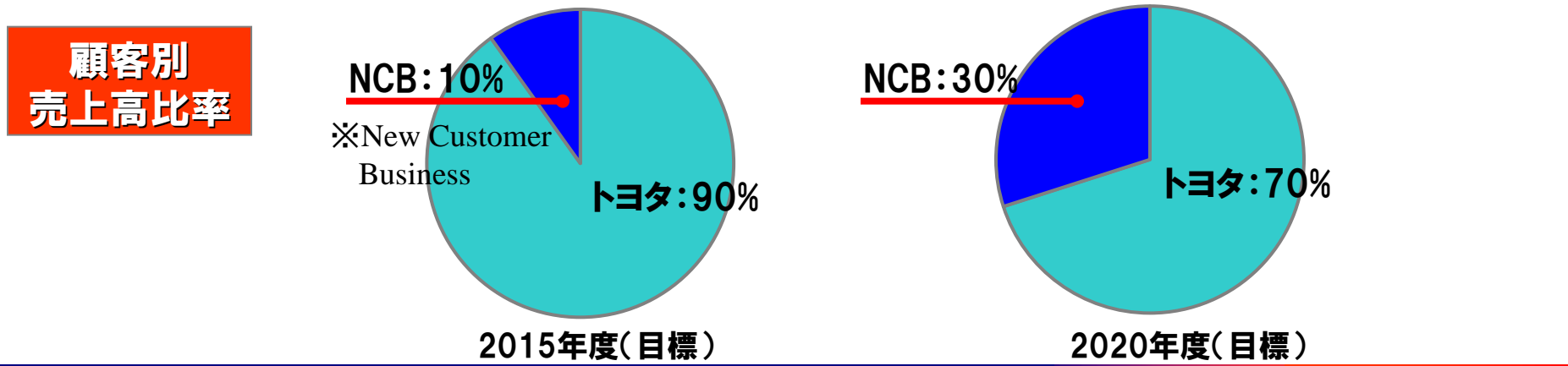
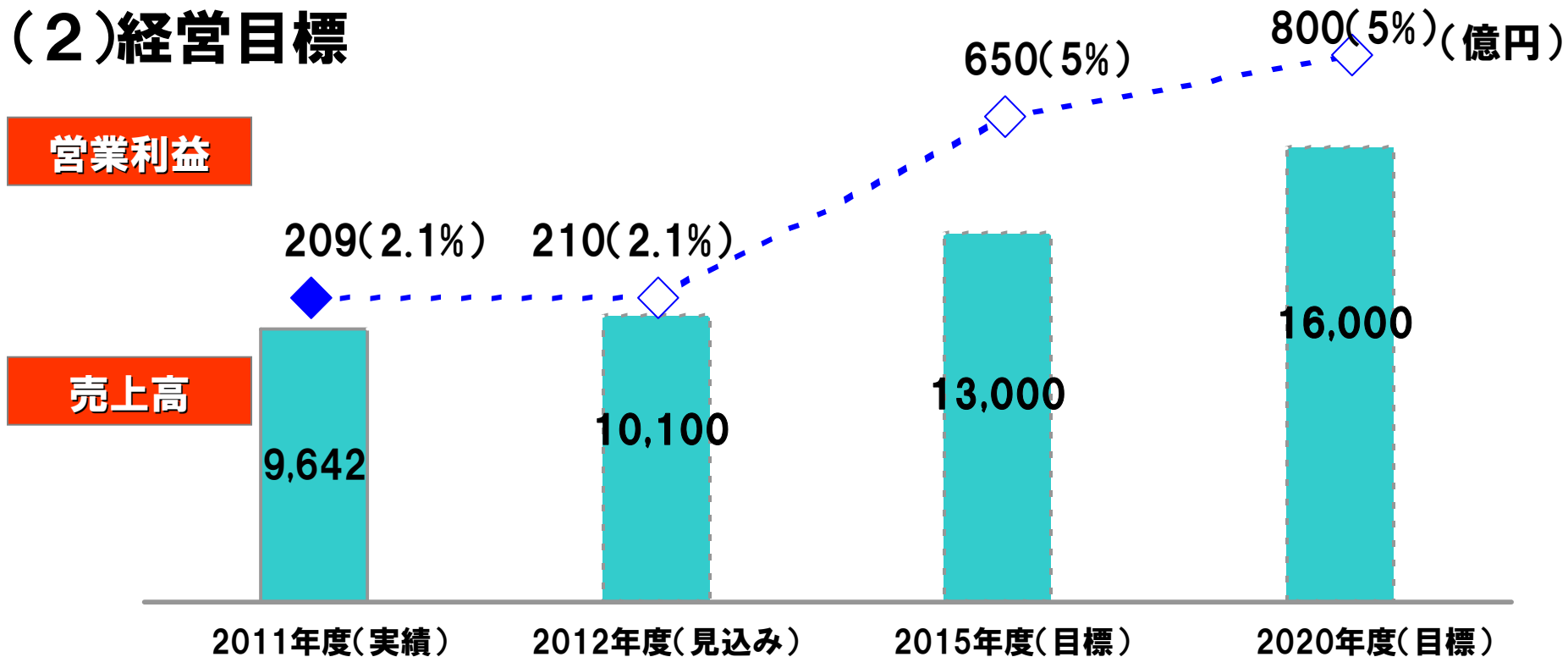
- ①【事業】世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社
- ②【社会】すべてのステークホルダーから信頼され、共に成長する会社

### <2015主要経営課題>

- ① 事業領域の拡大に向けた先端技術の追求
- ② 新興国を中心としたグローバルでの事業拡大の加速
- ③ 幅広い顧客拡大に向けた業務・組織改革
- ④ 日本事業のスリム、高効率、高付加価値化の徹底

# 2020 Vision / 2015中期経営計画

## (2) 経営目標



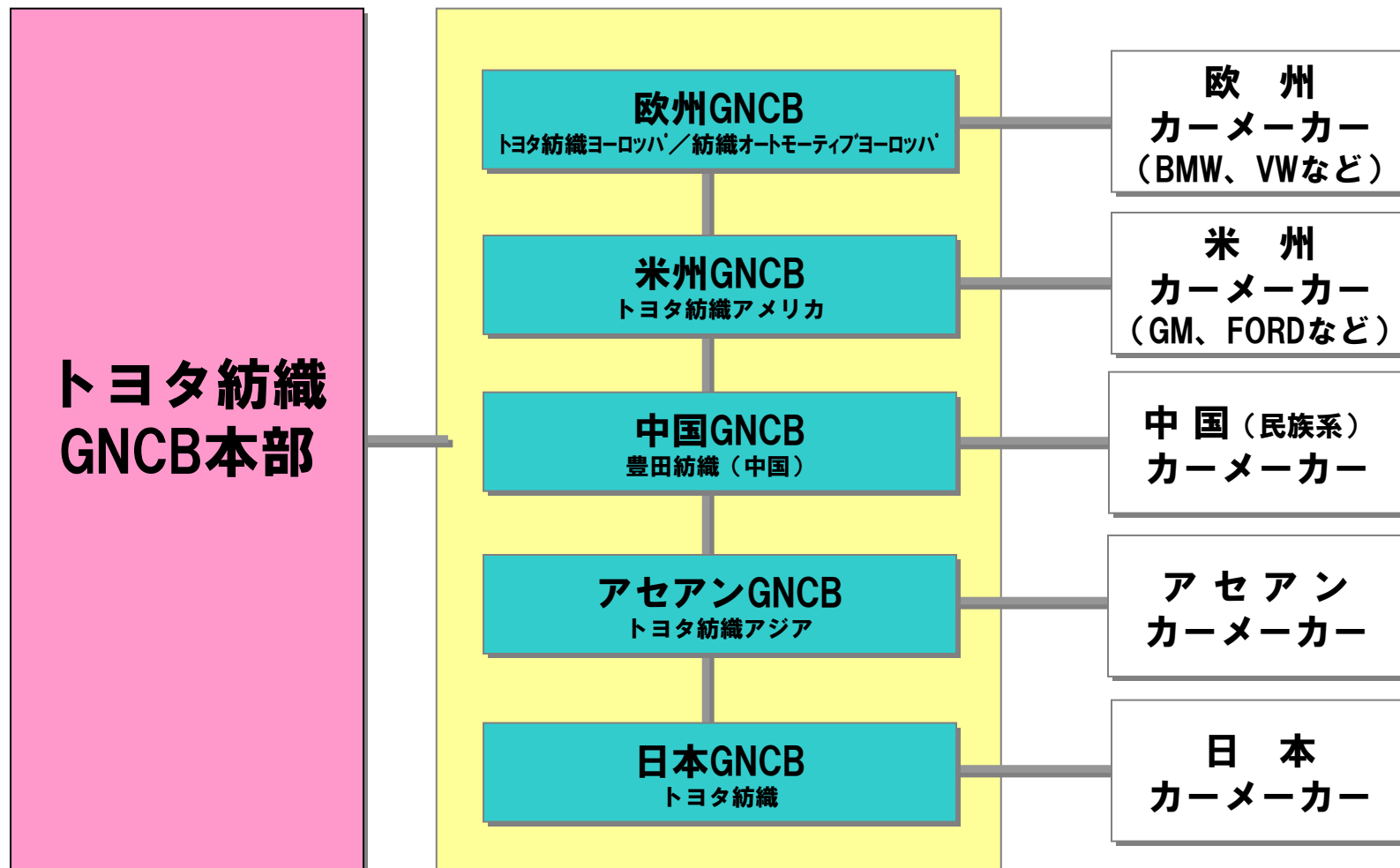


## 2)中期経営計画の進捗

### (1)グローバルな新規顧客獲得に向け、「GNCB本部」を設立

※Global New Customer Business

#### ■ 各地域にGNCB機能を設置

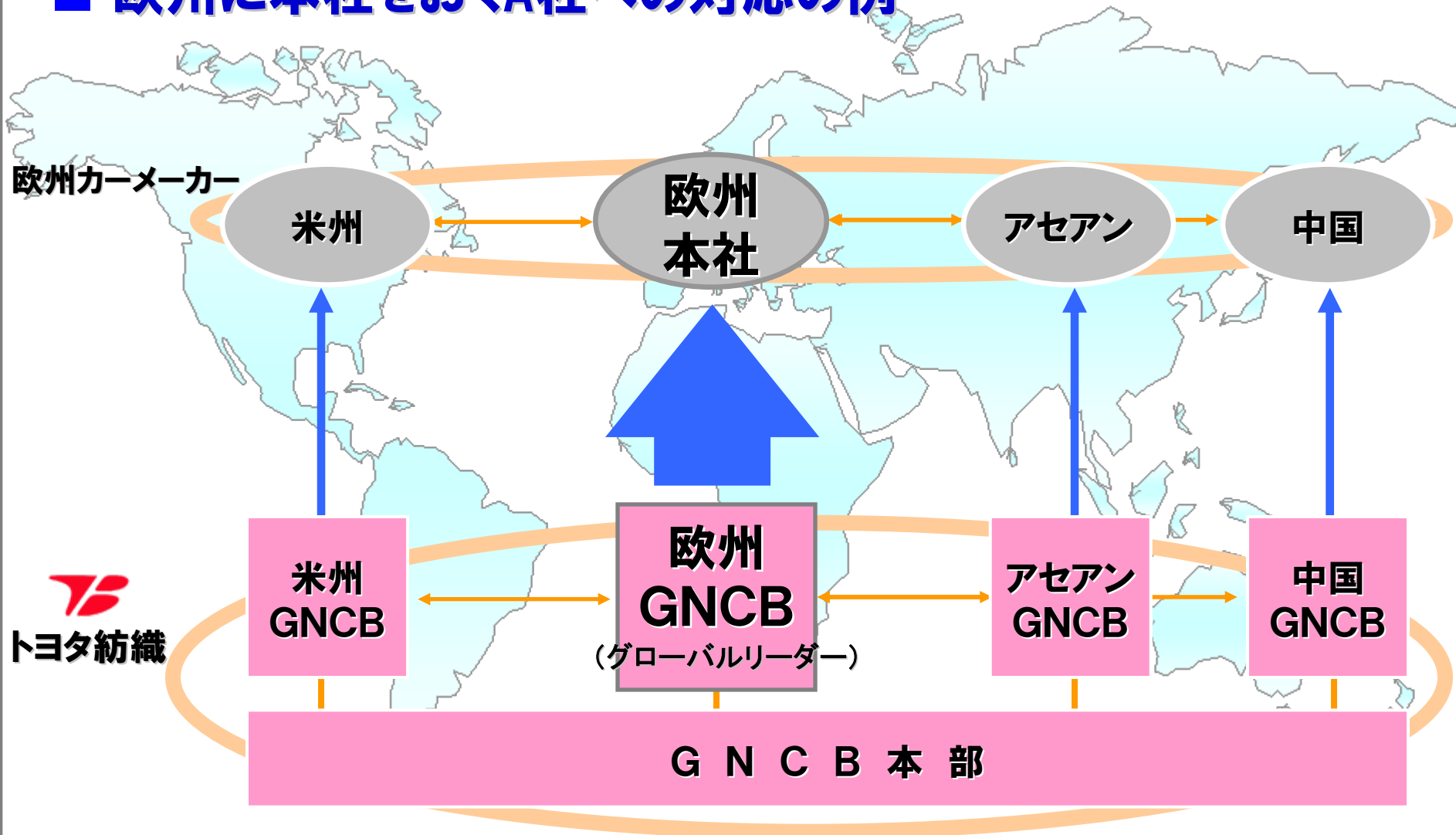


## 2)中期経営計画の進捗

(1)グローバルな新規顧客獲得に向け、「GNCB本部」を設立

■ 欧州に本社をおくA社への対応の例

※Global New Customer Business



## 2)中期経営計画の進捗

### (2)GNCB（新規顧客ビジネス）の受注状況

#### ■ 主な新規獲得案件

～中国で、BMWのシートバックボードを受注～

■ 客 先:BMW

■ 受注製品:5シリーズ シートバックボード

■ 生産開始:2013年頃（生産場所 中国天津地区）



シートバックボード

## 2)中期経営計画の進捗

### (3)新規拠点の設立

#### 紡織オートモーティブチェコ(チェコ初進出)

客 先: 欧州カーメーカー  
生産品目: 内装部品  
生産開始: 2013年頃



#### TBソーデックトルコ

客 先: 欧州カーメーカー、トヨタ など  
生産品目: シートカバー  
生産開始: 2013年頃



## 2)中期経営計画の進捗

### (4)新規拠点の生産開始

#### 長春富維豊田紡織 (2012年4月生産開始)

生産品目:トヨタ カローラの  
シート、ドアトリムなど



## 2)中期経営計画の進捗

### (4)新規拠点の生産開始

#### トヨタ紡織ブラジル (2012年9月生産開始)

生産品目:トヨタ エティオスの  
シート、ドアトリム、エアクリナー



## 2)中期経営計画の進捗

### (5)技術開発力強化に向けた体制整備

#### ■新規ビジネス受注に向けた体制の強化・充実

～中国で域内完結型開発体制を構築～

豊田紡織(中国) 新本社・R&Dセンター設立 (2014年稼動予定)



【ベンチマークルーム】



【イルミネーション部品評価】

## 2)中期経営計画の進捗

### (5)技術開発力強化に向けた体制整備

#### ■新規ビジネス受注に向けた体制の強化・充実

～地域最適商品の提案を目指し、市場・調査・開発情報を集約～

**トヨタ紡織アジア MRD※センター設立（2012年2月稼動開始）**

※Marketing Research & Development



【MRDセンター】



【ベンチマークルーム】

現物でのベンチマークによる解析力、  
新製品提案力強化



【DR※ルーム】※Design Review

日本やサプライヤーとリアルタイムで  
検討し、図面完成度向上



## 2)中期経営計画の進捗

### (5)技術開発力強化に向けた体制整備

#### ■トヨタ紡織独自のテストコース建設に着手

～世界トップレベルの部品開発のため

実車走行による評価を行う独自のテストコースを建設～

■名 称:トヨタ紡織 多治見技術センター

■所 在 地:岐阜県多治見市

■完成予定 :2014年3月

■面 積:敷地面積 約36万平方M  
テストコース面積 約14万平方M



■コース概要: ①周回路(全長1,800M、内 直線700M)  
②多種多様な路面を再現した特殊路(約200M)

## 2)中期経営計画の進捗

### (5)技術開発力強化に向けた体制整備

#### 〔アライアンス①〕

#### ■ オートニウム(スイス)、日本特殊塗料と協業の検討開始 (2012年8月)

世界有数の音響技術(=防音技術)を誇るオートニウムグループと手を結び、次世代自動車用の静粛性に優れた快適な内装パッケージをグローバルに提案



## 2)中期経営計画の進捗

### (5)技術開発力強化に向けた体制整備

#### 〔アライアンス②〕

#### ■ 東海ゴムグループと連携強化（2012年8月）

東海ゴムグループの東海化成工業に資本参加。  
東海ゴムの制振技術、東海化成のウレタン発泡成形技術と融合し、  
高付加価値製品の開発、新規領域にも積極的に挑戦





**Quantum Leap** 発想の飛躍

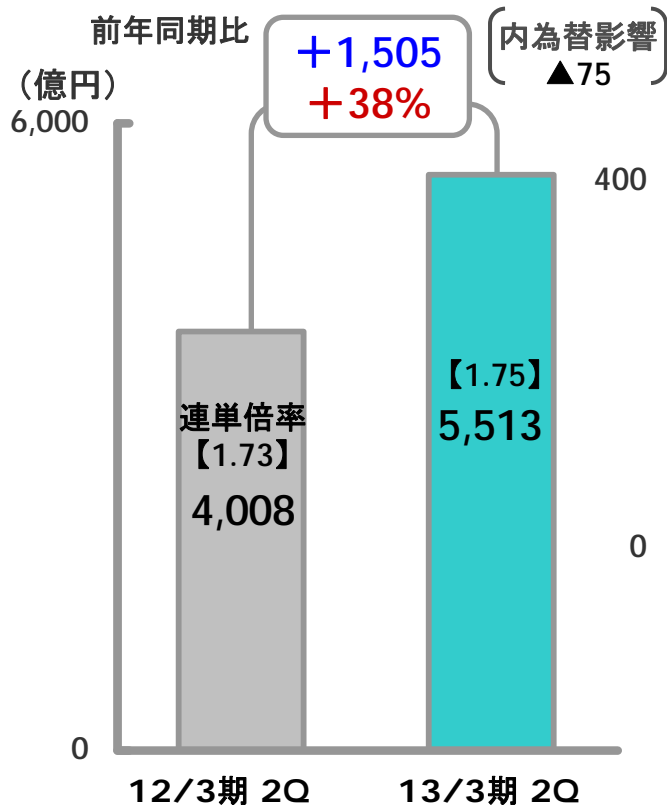
# 3 決算状況

- 1) 2013/3月期 第2四半期 決算状況
- 2) 2013/3月期 業績予想

# 1)2013年3月期 第2四半期 決算状況

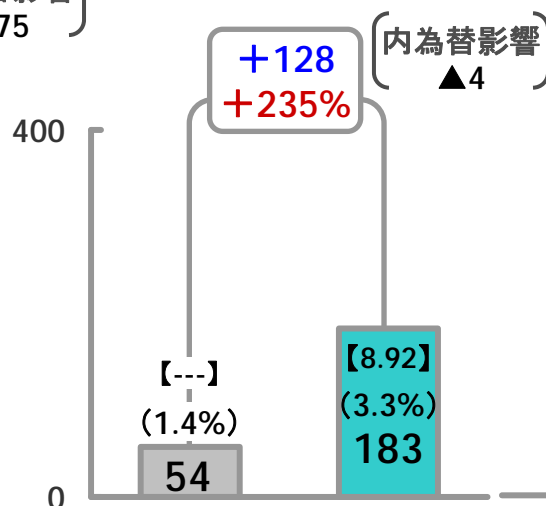
震災による減産からの回復、エコカー購入支援策により、増収増益

## 売上高



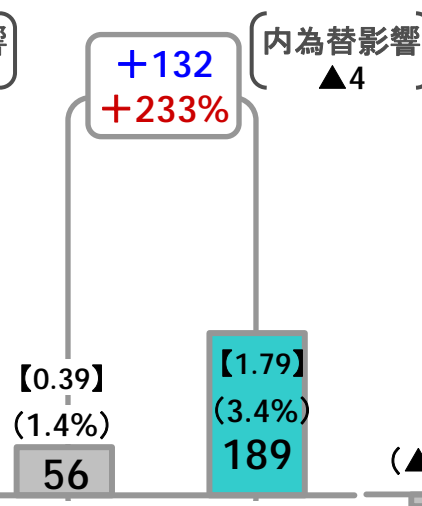
## 営業利益

(営業利益率)



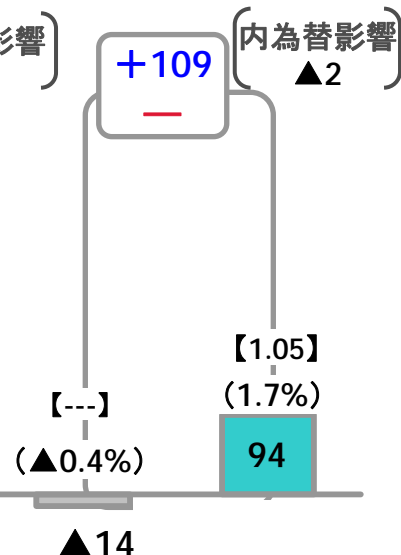
## 経常利益

(経常利益率)



## 当期純利益

(当期純利益率)



## 1株当たり当期純利益

▲7.75 円 → 51.11 円

## 配当金

7 円 → 8 円

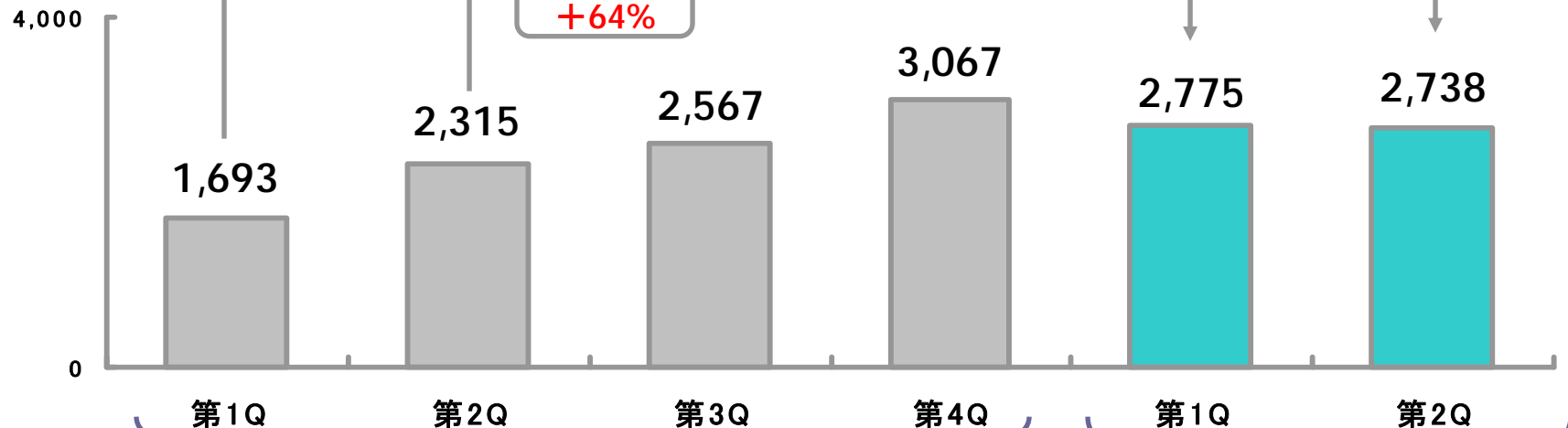
米ドル	79.82円	79.41円
ユーロ	113.79円	100.64円
タイバーツ	2.65円	2.54円
人民元	12.54円	12.64円

# 1)2013年3月期 第2四半期 決算状況

前年同四半期との比較においても、売上高・営業利益とも増加

## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)

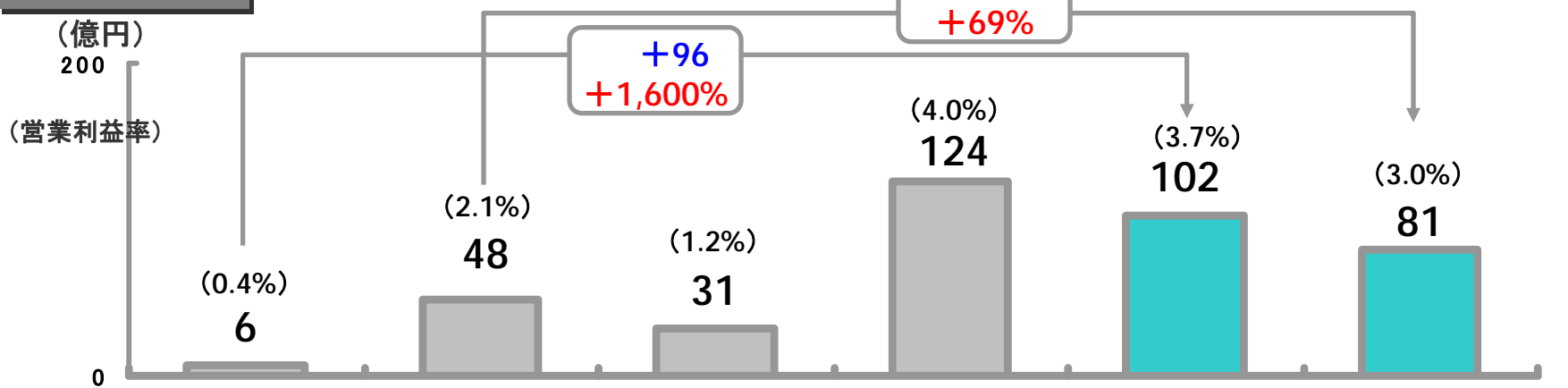
200

(営業利益率)

0

12/3期

13/3期



# 1) 2013年3月期 第2四半期 決算状況 ～地域別生産台数～

## 全ての地域、全てのクラスで台数増加

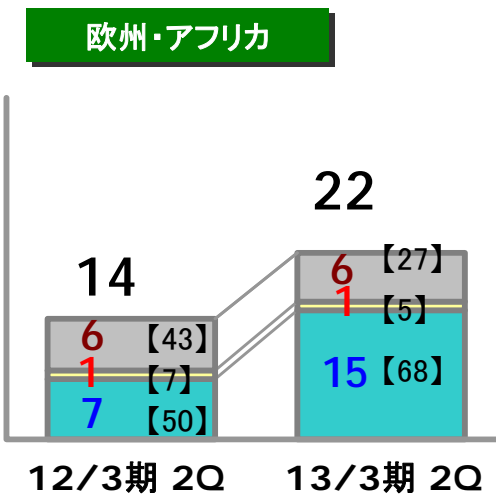
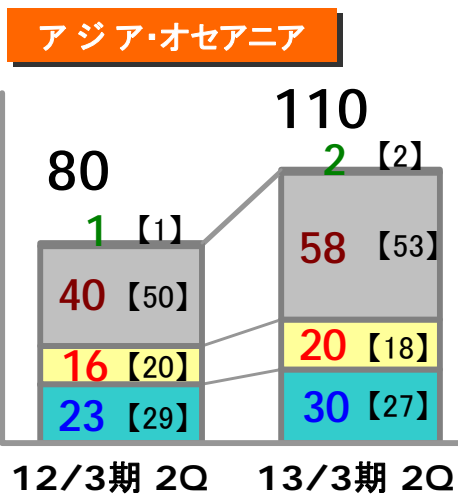
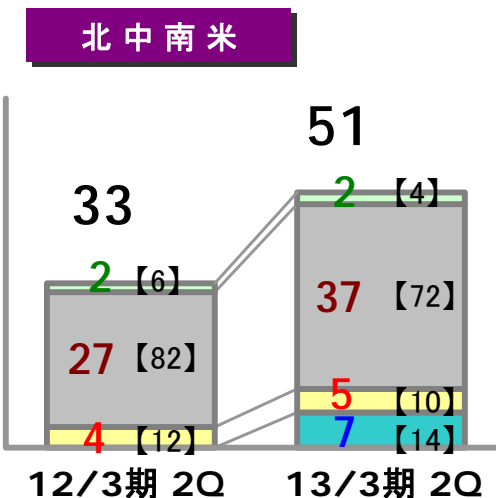
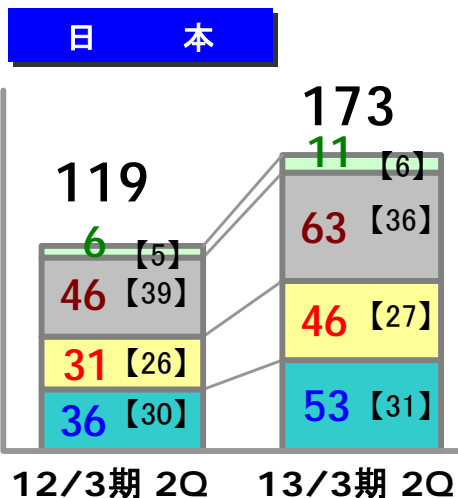
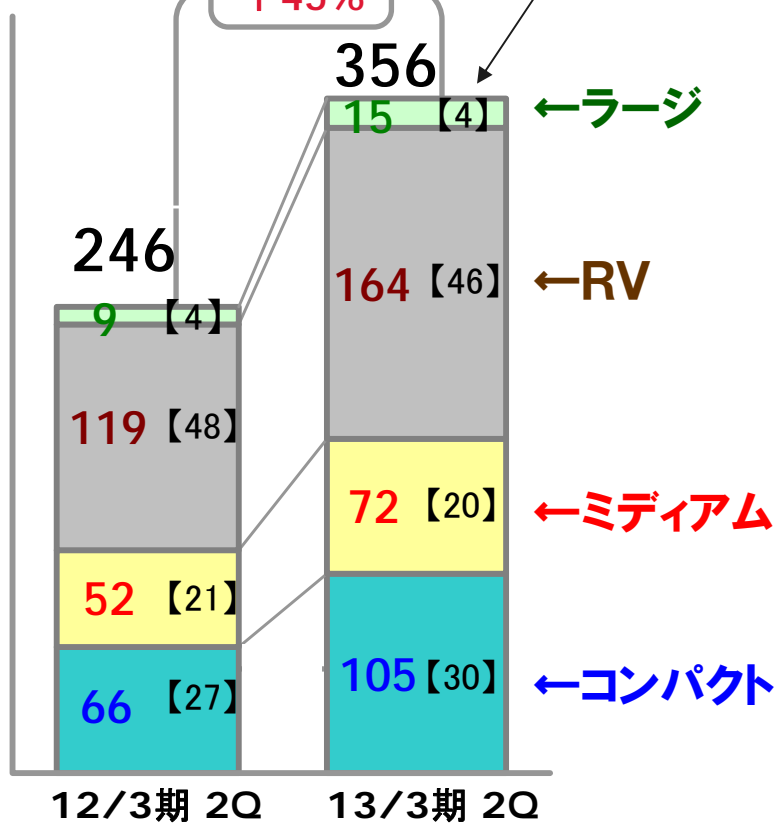
### シート生産台数

全体

(万台) 前年同期比

+110  
+45%

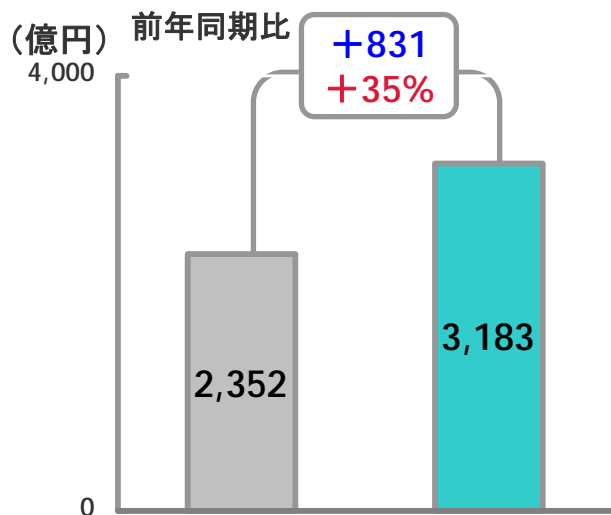
【車種構成(%)】



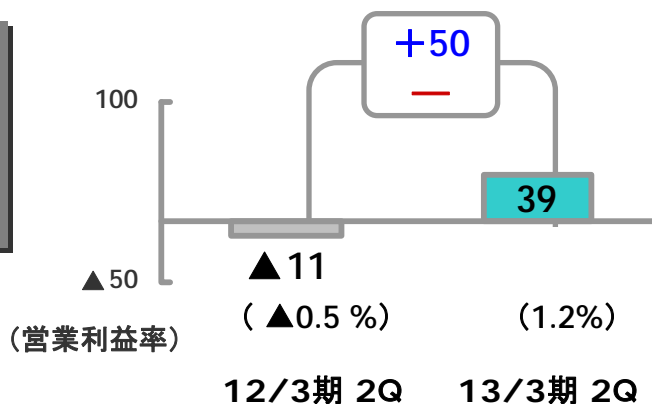
# 1) 2013年3月期 第2四半期 決算状況 ~地域別売上高・営業利益①~

## 日本

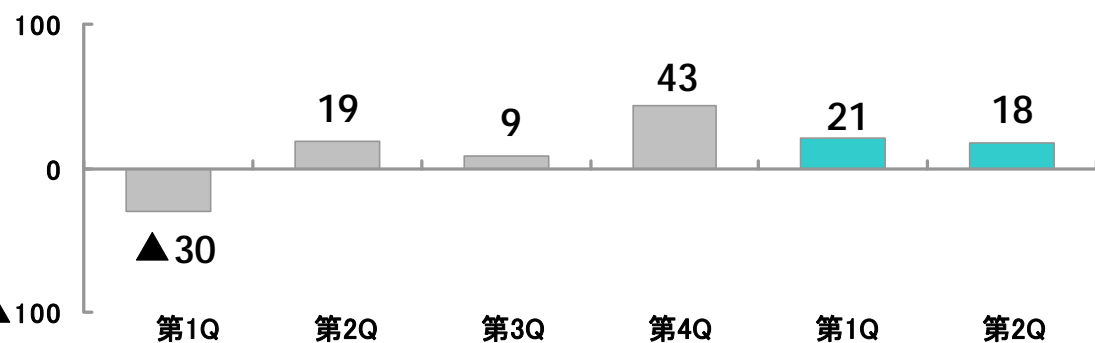
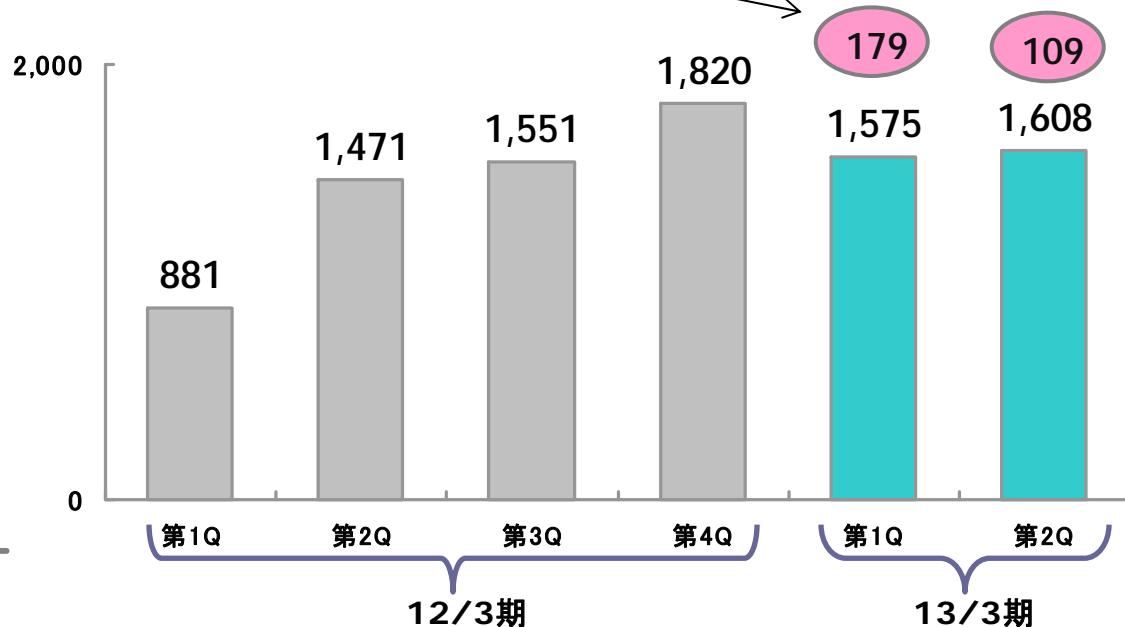
売上高



営業利益



対前年同期 指数



・震災による減産からの回復、エコカーを中心とした増産効果などにより増収  
 ・大幅な増産増収の影響などにより、営業利益は黒字化

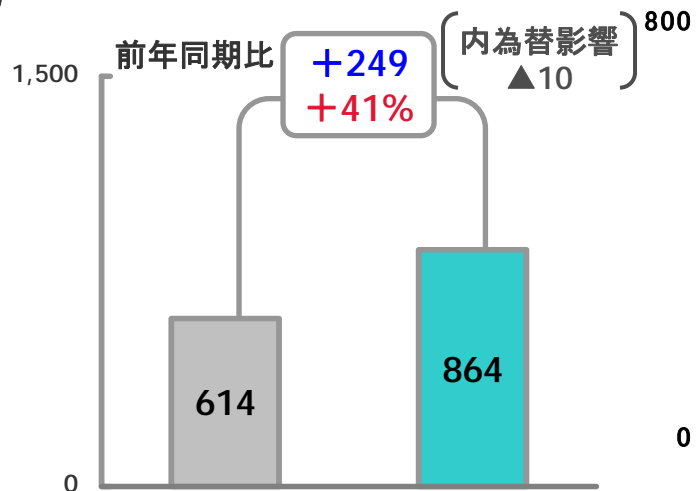


# 1) 2013年3月期 第2四半期 決算状況 ～地域別売上高・営業利益②～

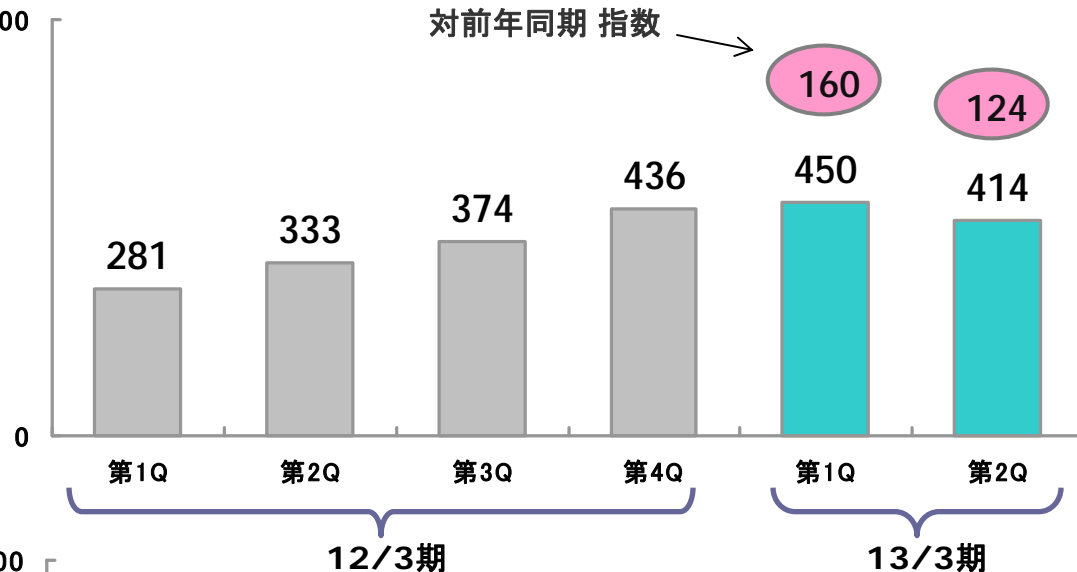
## 北中南米

(億円)

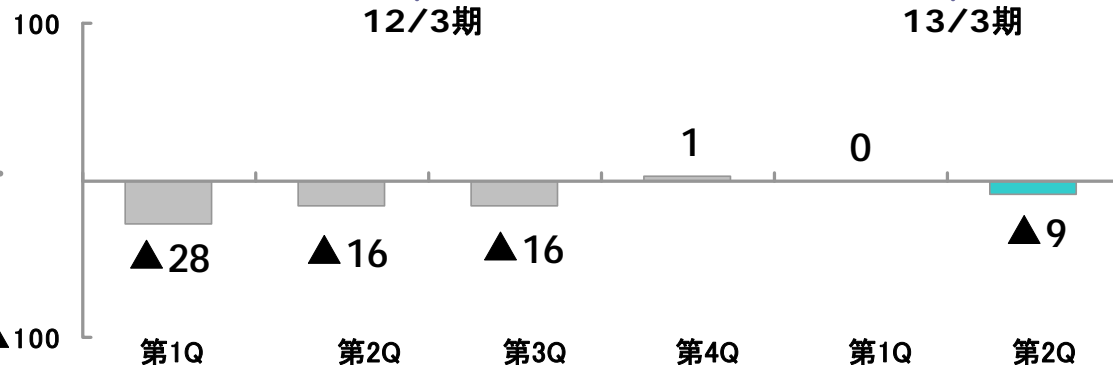
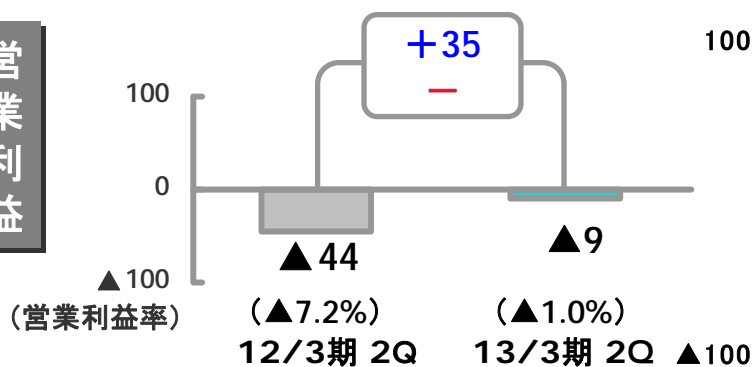
売上高



対前年同期 指数



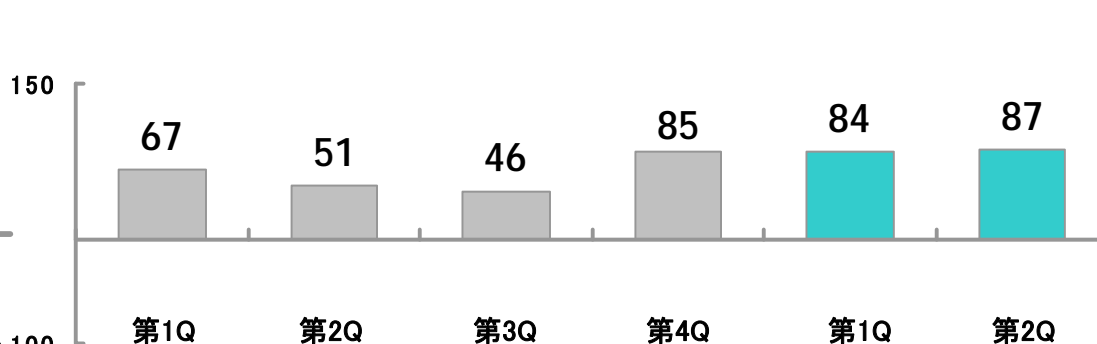
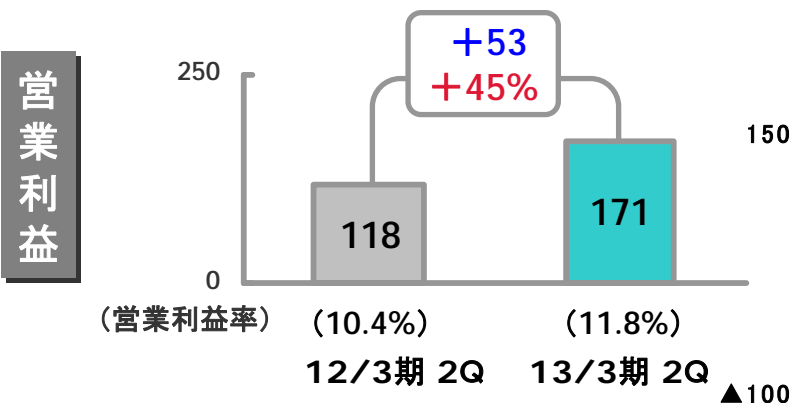
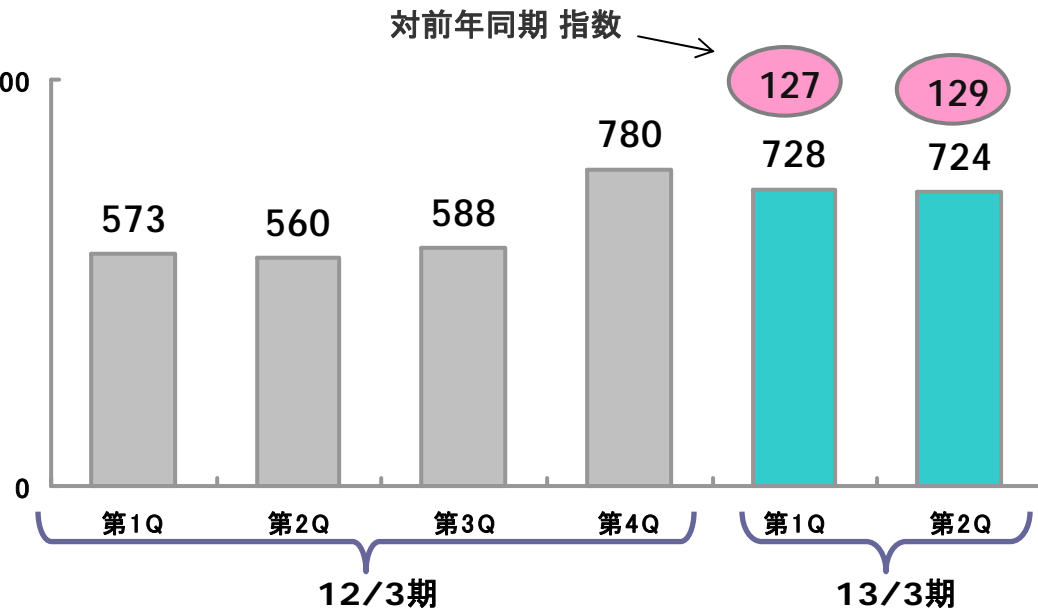
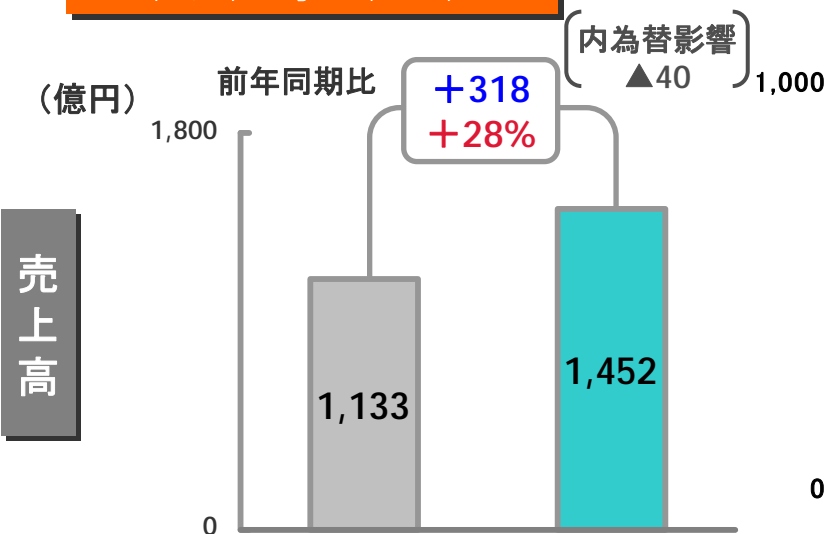
営業利益



- ・震災による減産からの回復、前期に立ち上がったカローラの寄与などにより増収
- ・増産増収の影響、継続推進中の収益構造改革活動の成果などにより赤字減少

# 1)2013年3月期 第2四半期 決算状況 ～地域別売上高・営業利益③～

## アジア・オセアニア



- ・震災による減産からの回復などにより、増収増益
- ・売上、利益とも堅調に推移

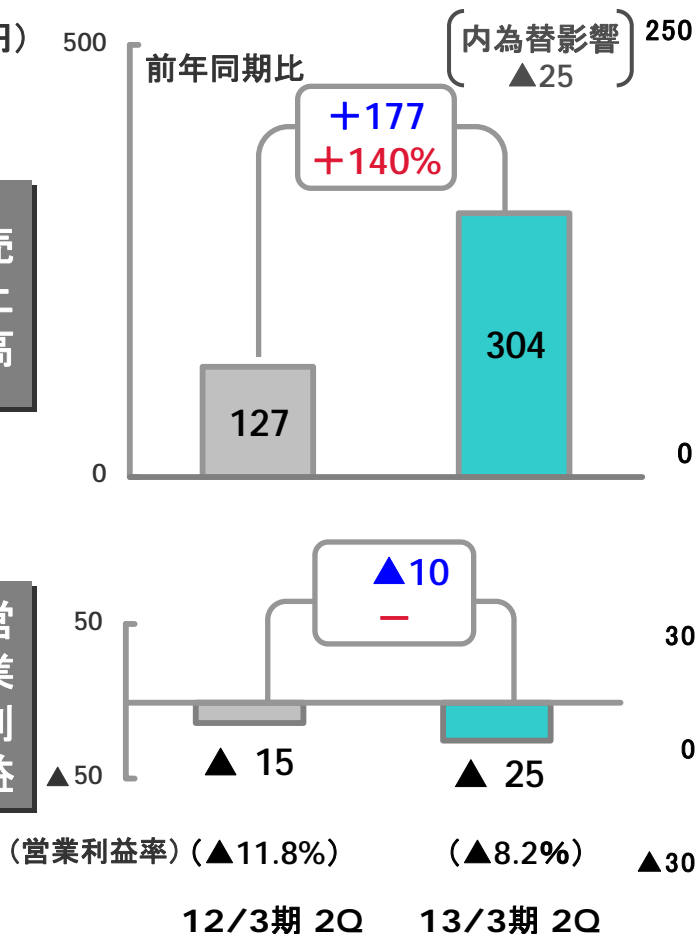
# 1) 2013年3月期 第2四半期 決算状況 ~地域別売上高・営業利益④~

## 欧州・アフリカ

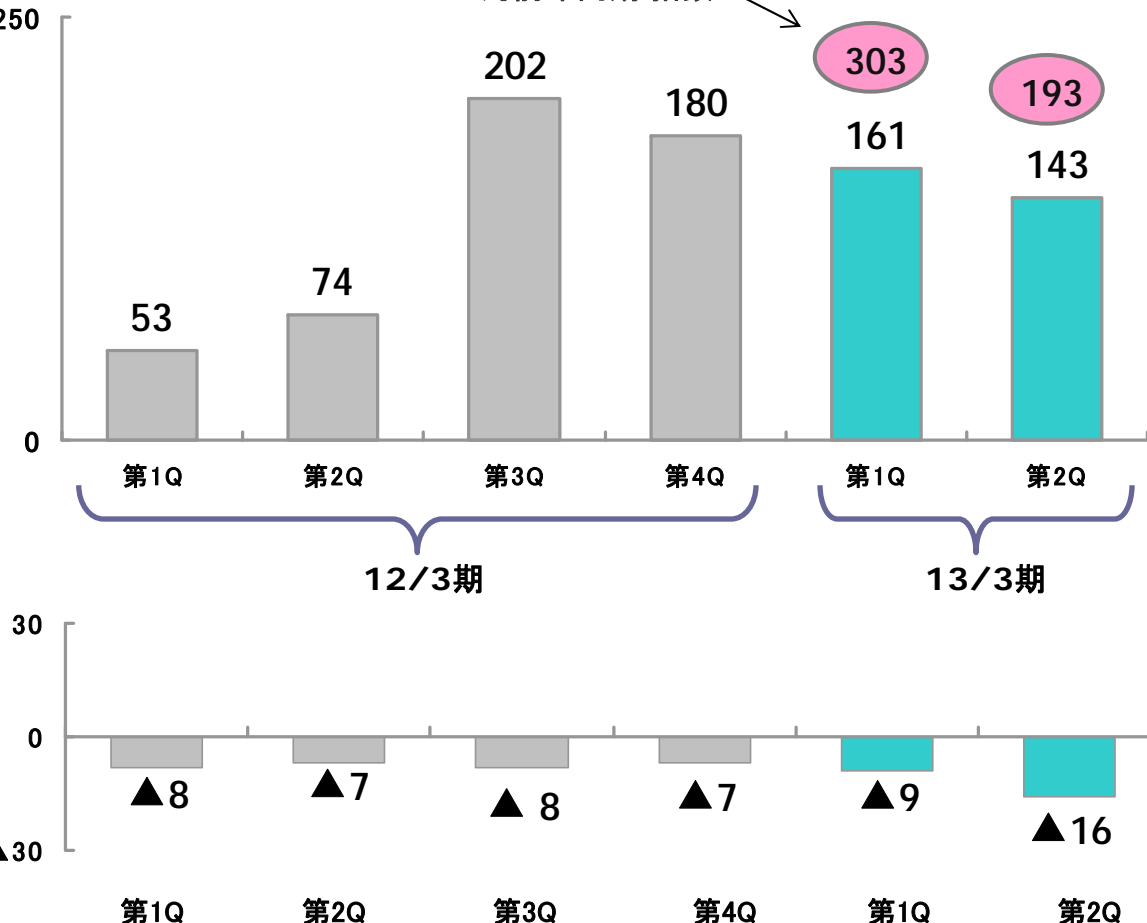
(億円)

売上高

営業利益



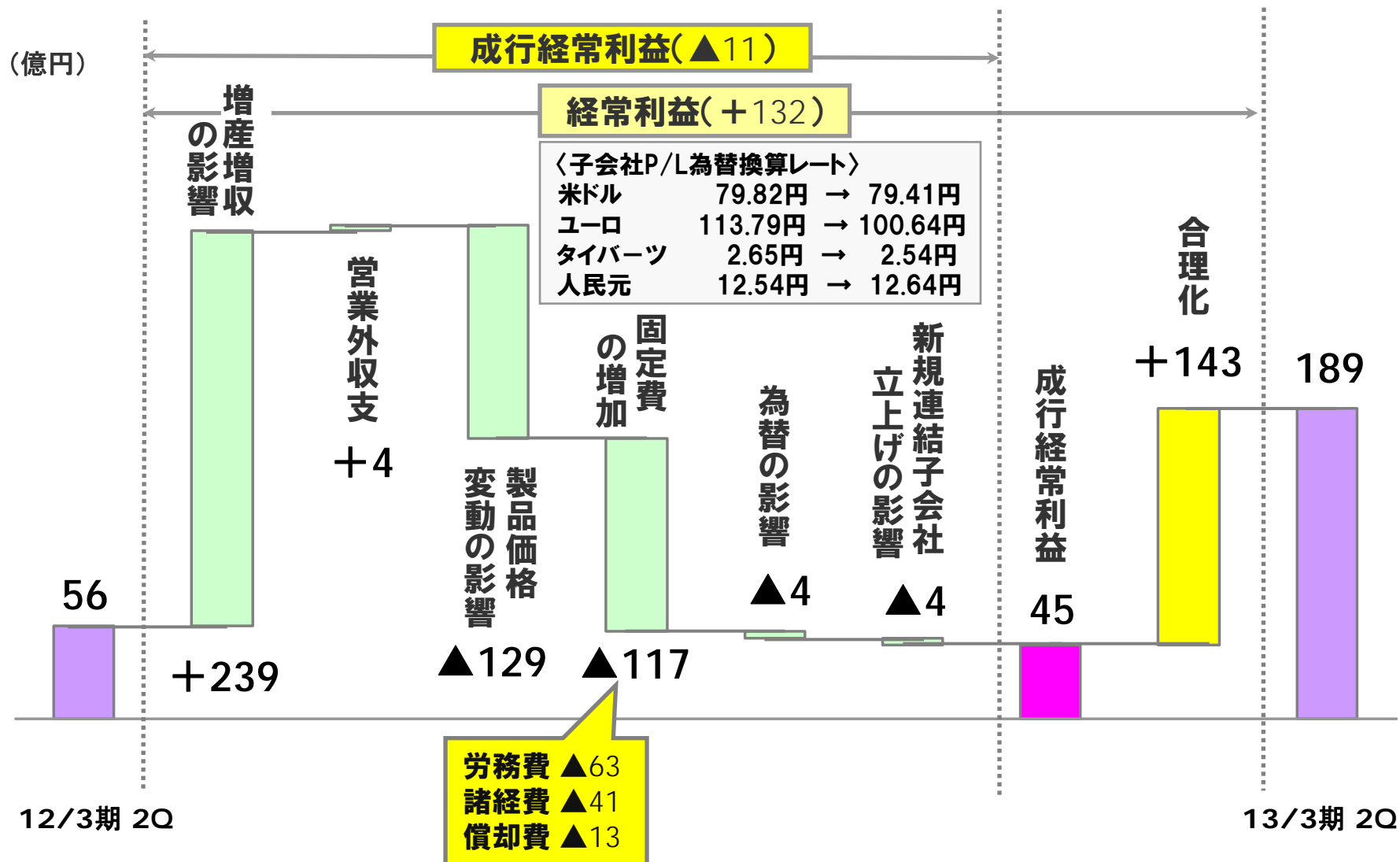
対前年同期 指数



- ・前期に立ち上がったヤリスの寄与や、BAEの寄与などにより、大幅増収
- ・増収となったものの、赤字増加

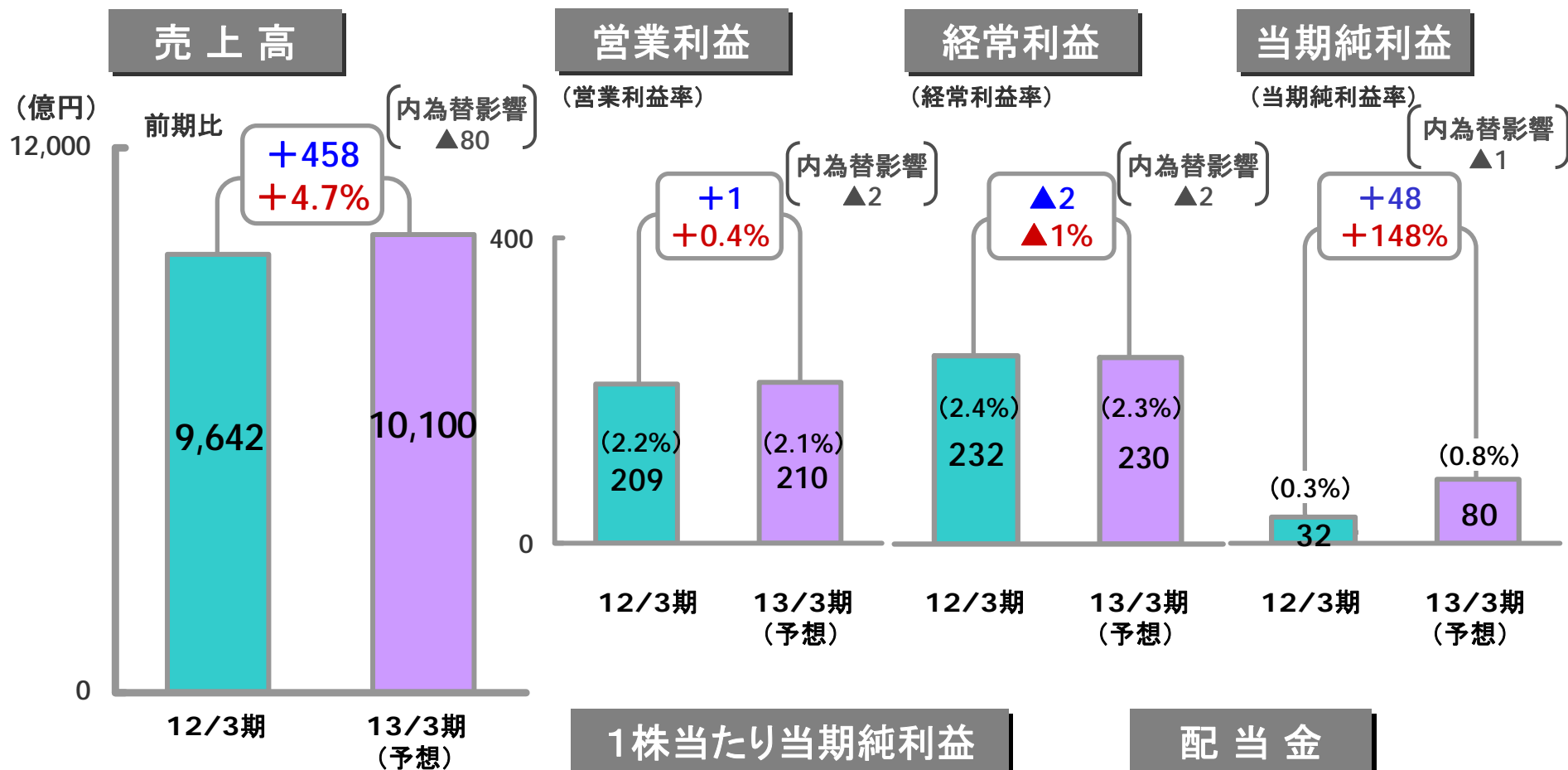
# 1) 2013年3月期 第2四半期 決算状況 ~経常利益増減要因~

## 増産増収の影響および合理化効果により、大幅な増益



# 2)2013年3月期 業績予想

増収となるものの、車種構成の悪化などにより利益は横ばい



米ドル	79.08円	78.00円
ユーロ	108.98円	100.00円
タイバーツ	2.59円	2.50円
人民元	12.35円	12.40円

## 1株当たり当期純利益

17.45円 → 43.17円

## 配当金

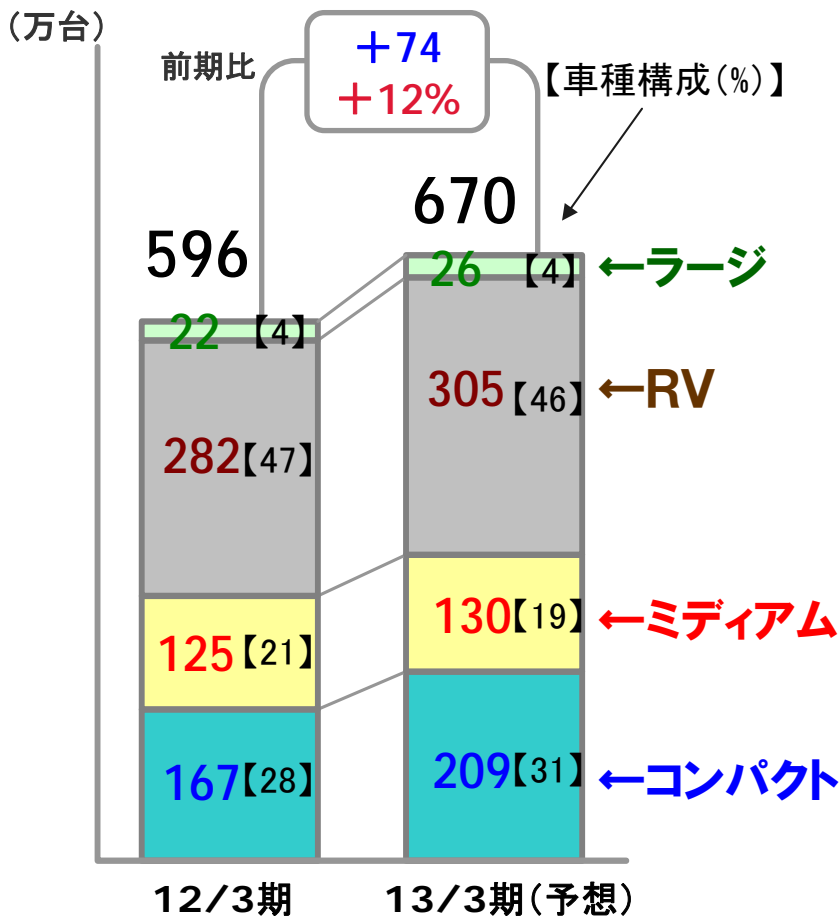
16円 → 未定

# 2)2013年3月期 業績予想 ～地域別生産台数～

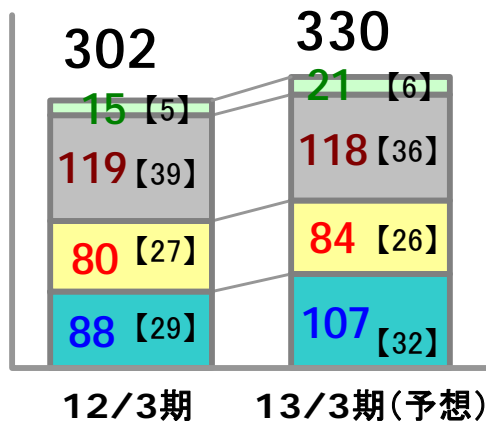
## 各地域とも台数増、コンパクト車種の増加により車種構成悪化

### シート生産台数

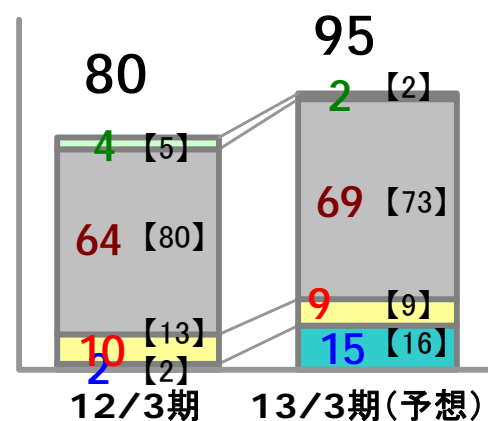
#### 全 体



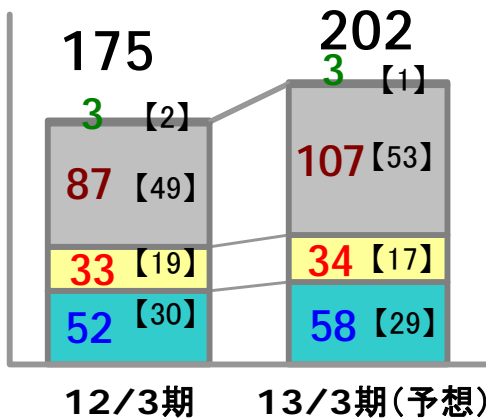
#### 日 本



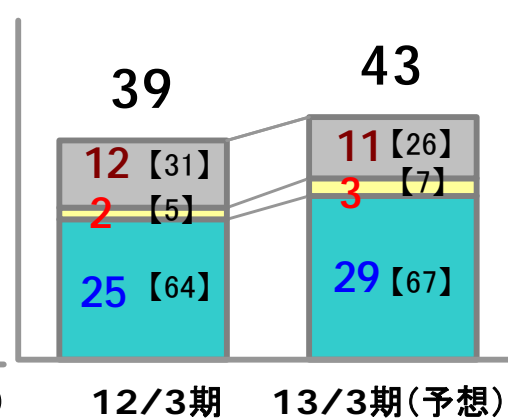
#### 北中南米



#### アジア・オセアニア



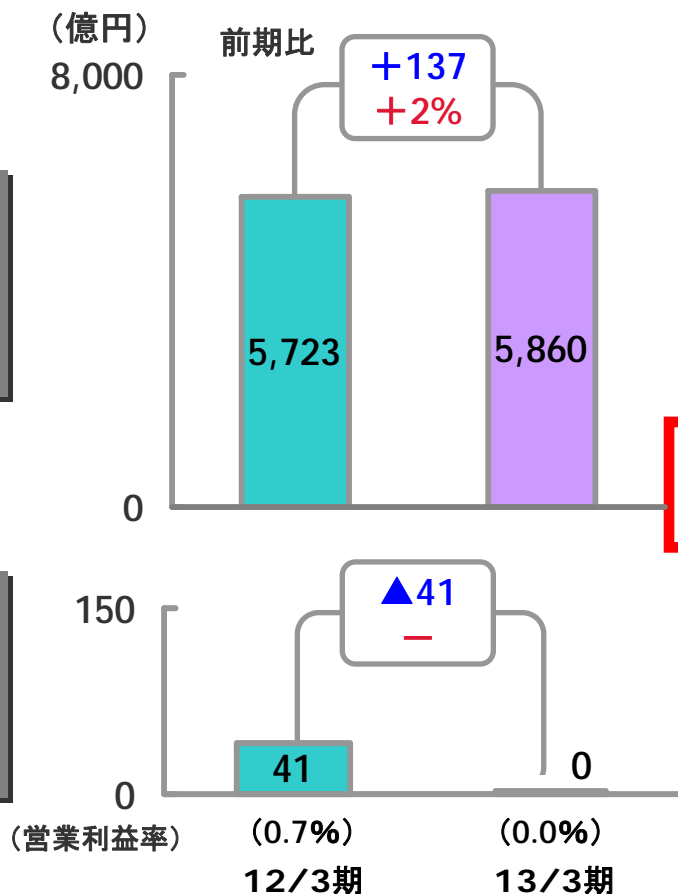
#### 欧州・アフリカ



# 2)2013年3月期 業績予想 ～地域別売上高・営業利益①～

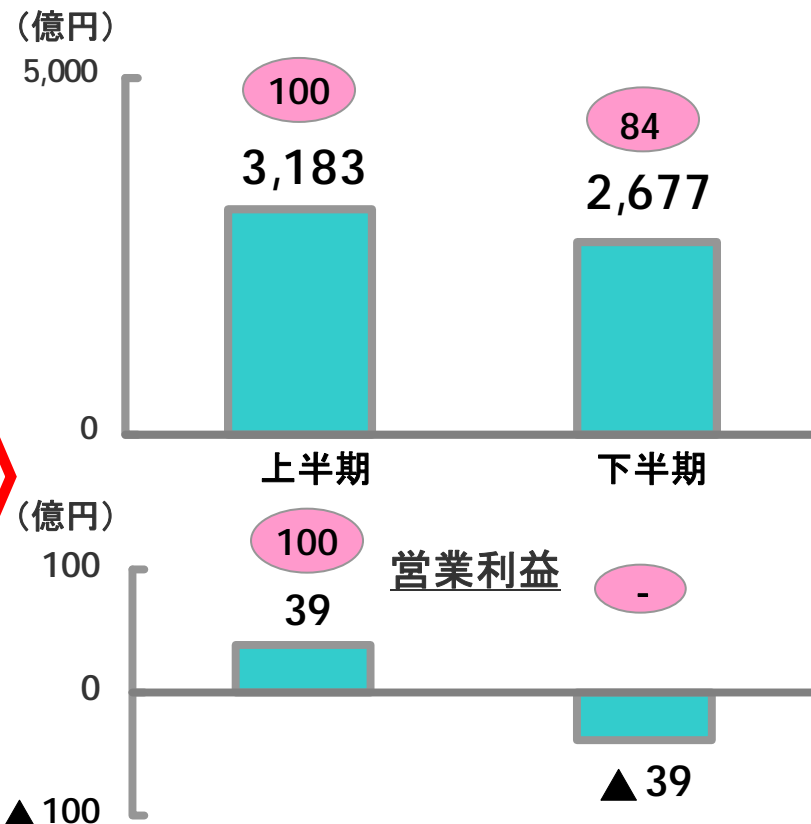
日 本

売上高



13/3期  
上・下別

売上高

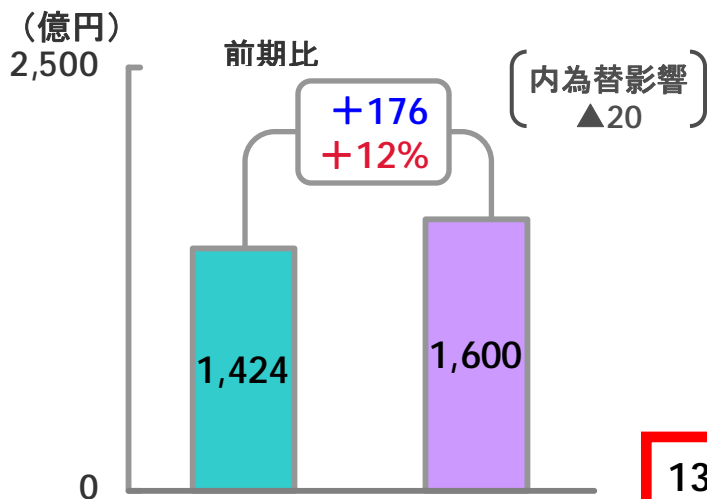


- ・上期の増産により増収となるものの、構成の悪化、新規ビジネス対応費用の増加などにより減益
- ・下期は、エコカー補助金打切りによる反動減などにより、赤字見通し

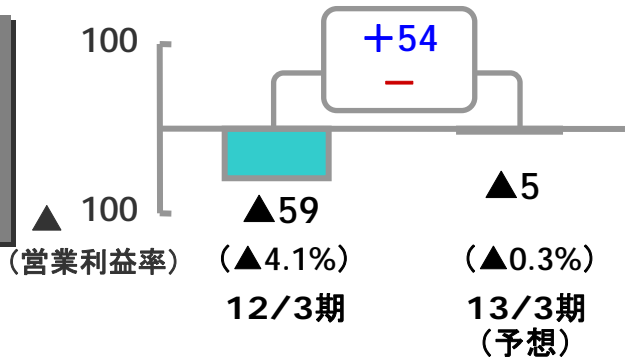
# 2)2013年3月期 業績予想 ～地域別売上高・営業利益②～

## 北中南米

売上高

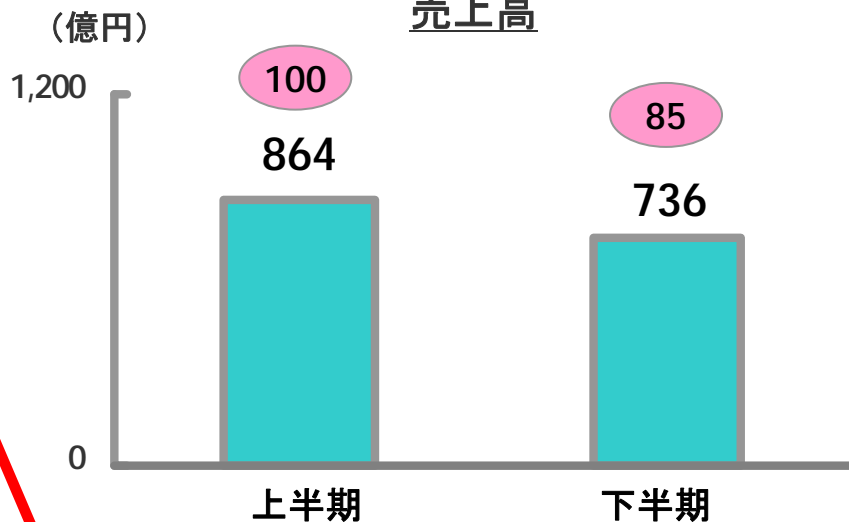


営業利益



13/3期  
上・下別

## 売上高



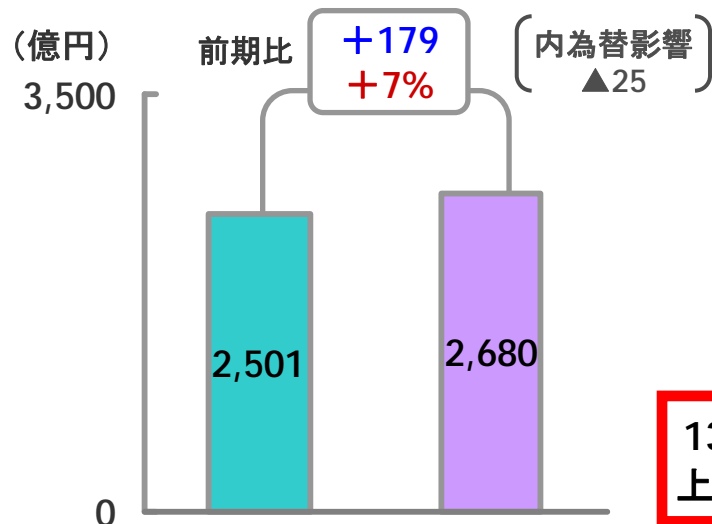
- ・下期に市場の減速を見込むものの、上期の増産により、年間では増収
- ・ブラジルの生産準備費用等の減益要因はあるものの、赤字減少見通し



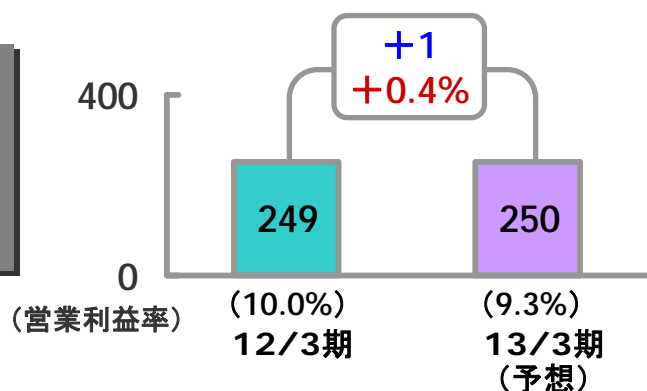
# 2)2013年3月期 業績予想 ～地域別売上高・営業利益③～

## アジア・オセアニア

売上高

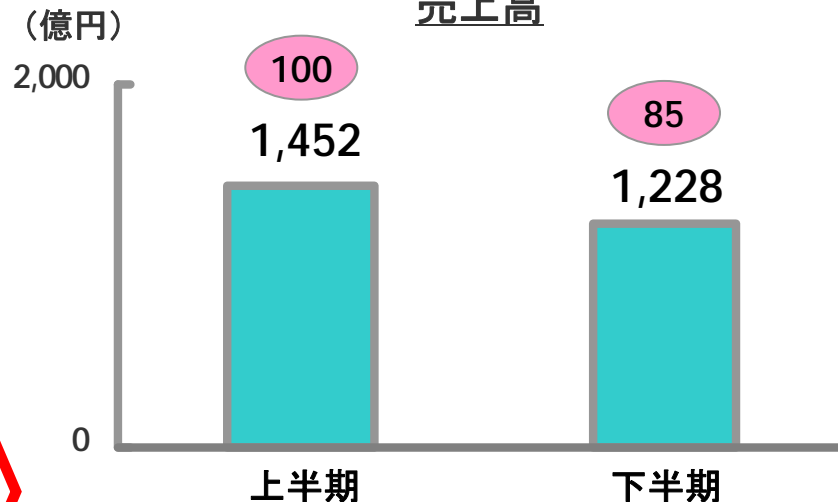


営業利益

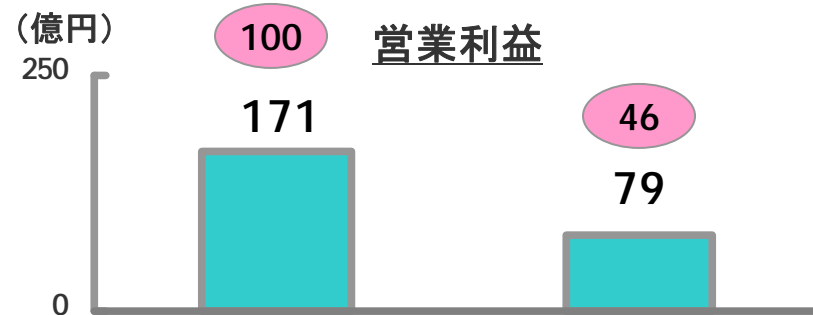


13/3期  
上・下別

## 売上高



## 営業利益

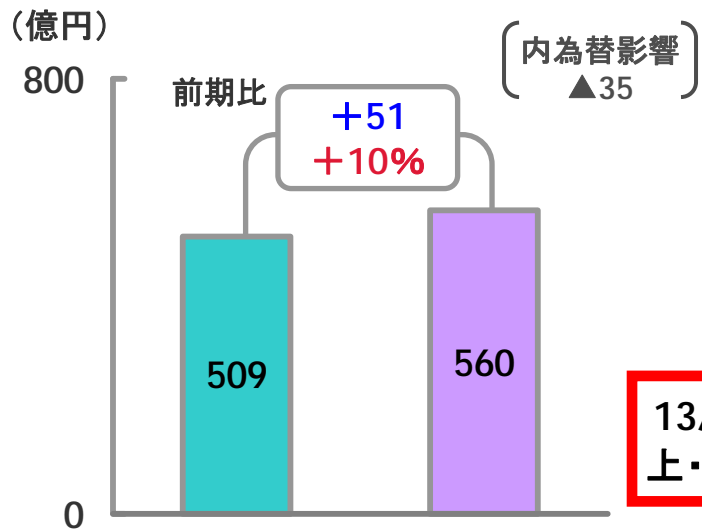


- 中国の減産はあるものの、アセアンの寄与により増収
- 上期は堅調であったものの、下期の中国での減産影響等により、年間利益は横ばい

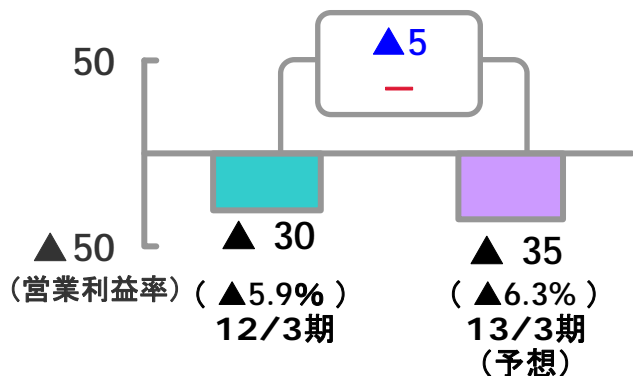
# 2)2013年3月期 業績予想 ～地域別売上高・営業利益④～

## 欧州・アフリカ

売上高

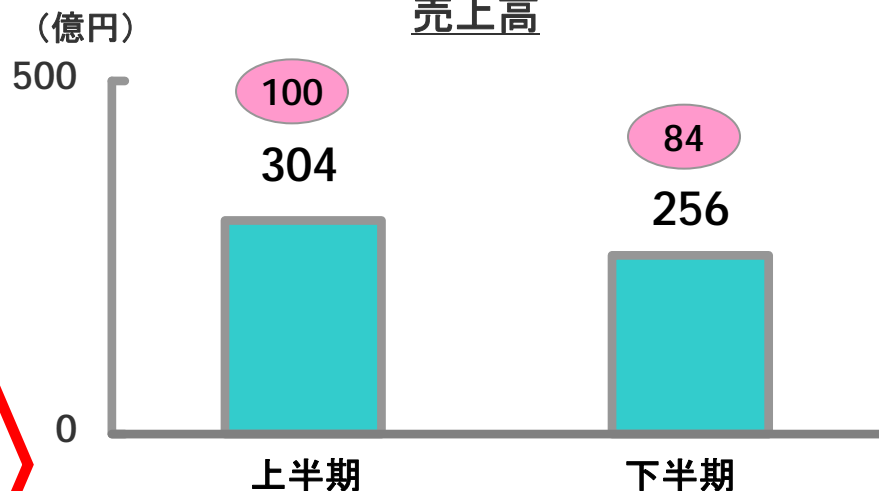


営業利益

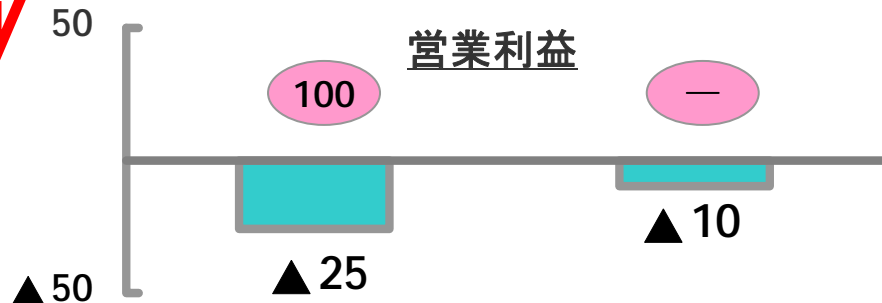


13/3期  
上・下別

売上高



営業利益



- ・トルコのオーリス移管などはあるものの、ヤリスおよびBAEの寄与などにより、増収
- ・BAEの影響などにより赤字は増加

# 2)2013年3月期 業績予想 ～経常利益増減要因～

成行では赤字となるものの、合理化でカバーし、ほぼ横ばい

(億円)

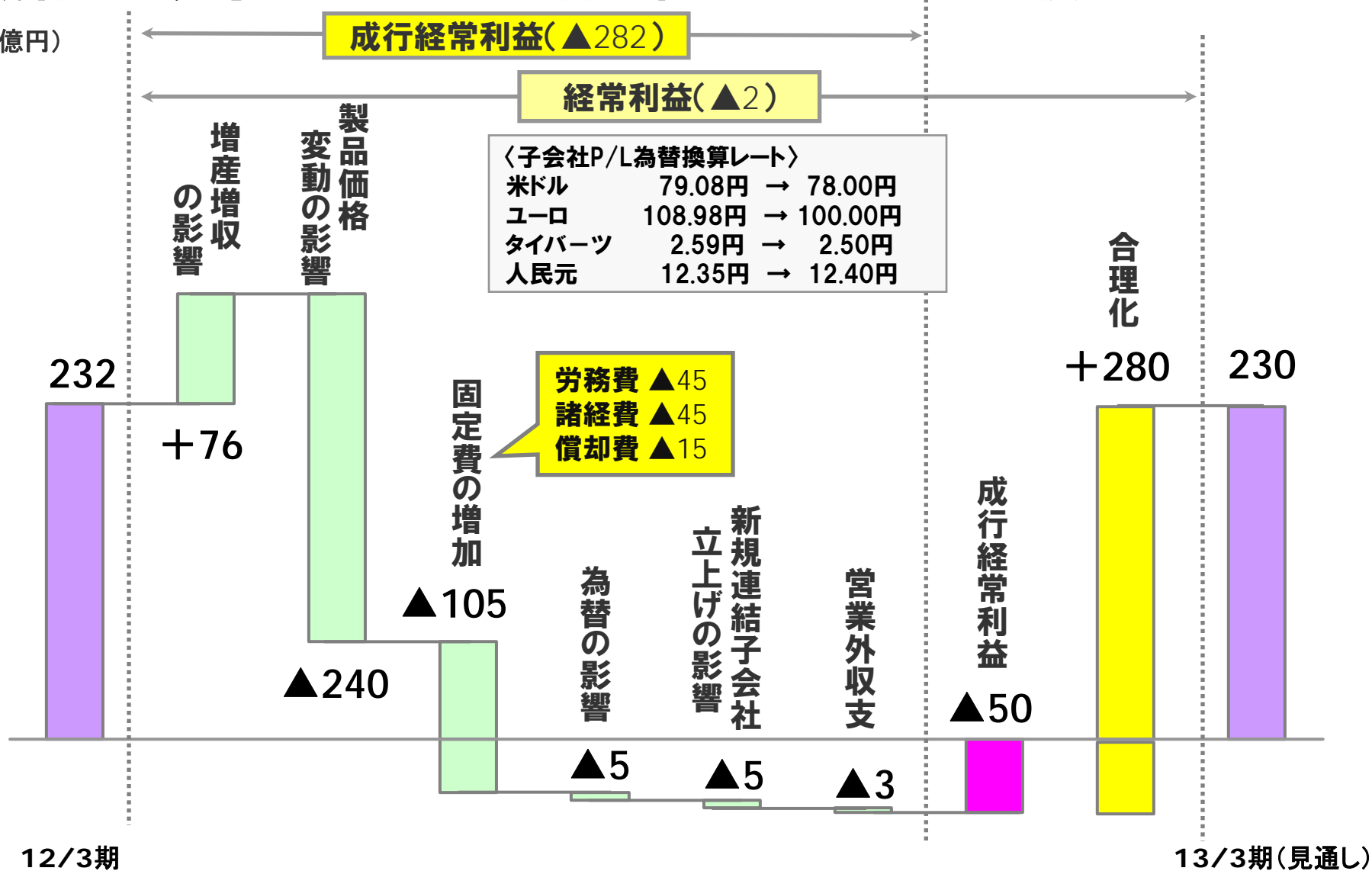
成行経常利益(▲282)

経常利益(▲2)

〈子会社P/L為替換算レート〉

米ドル	79.08円	→	78.00円
ユーロ	108.98円	→	100.00円
タイバーツ	2.59円	→	2.50円
人民元	12.35円	→	12.40円

労務費 ▲45  
諸経費 ▲45  
償却費 ▲15



12/3期

13/3期(見通し)

# 2)2013年3月期 業績予想 ～設備投資～

## モデルチェンジ投資を中心に、グローバル供給体制を整備

### 設備投資

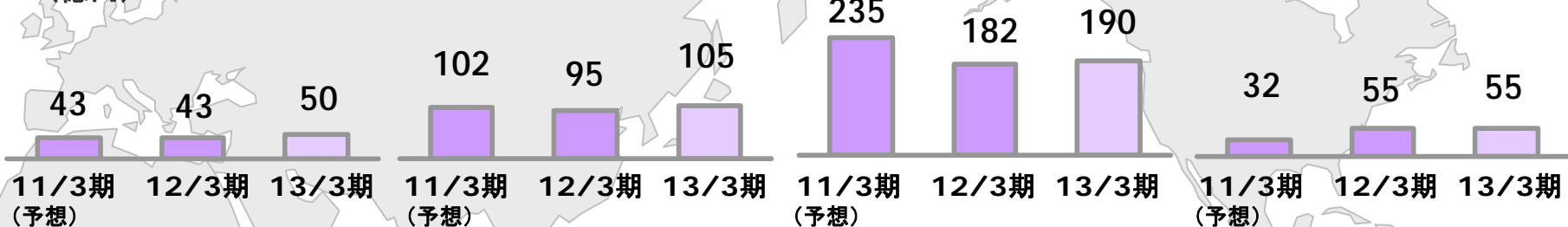
#### 欧州・南アフリカ

#### アジア・オセアニア

#### 日 本

#### 北中南米

(億円)



BAE新製品対応投資など

中国 新規立上り車種  
生産対応投資など

モデルチェンジ対応投資など

ミシシッピ カローラ  
モデルチェンジなどの生産設備

### 全 体

#### 体質強化投資

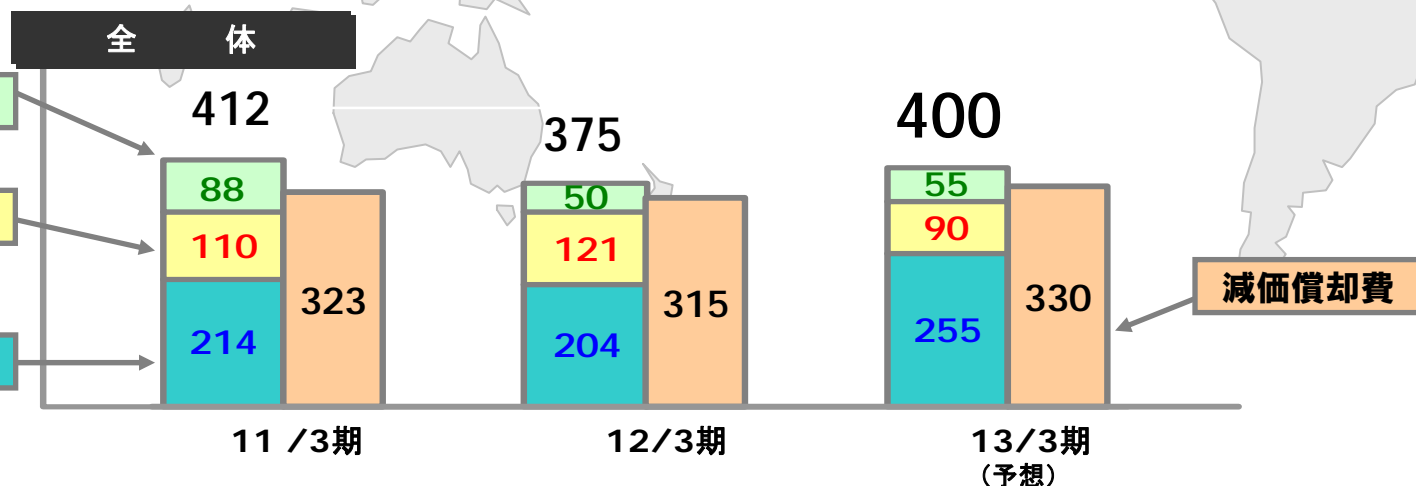
研究開発・IT・人材育成

#### 能力増強投資

土地・建物、生産設備  
などの新規投資

#### モデルチェンジ投資

新製品モデルチェンジ・  
マイナーチェンジ対応



*Design Your Passion*

